

Ⅶ 特別養護老人ホーム 入所希望者調査結果

VII 特別養護老人ホーム入所希望者調査結果

1 概況等

回答状況は、令和4年度調査と比較して、回収率が高くなっている。

	配付数	回収数	回収率
今回調査	238件	131件	55.0%
令和4年度調査	285件	147件	51.6%

2 結果の概要と考察

(1) 調査対象者の属性について

- 入所希望者のうち、引き続き入所を希望する人は5割以上であり、継続的な入所ニーズが存在する。一方で希望しない人の割合も約4割となっている。(問1)
- 希望しない理由は、既に入所・入居しているケースが多く、待機状況の流動性がみられる。(問1-1)
- 引き続き入所を希望する人の現在の居場所は、自宅・家族宅が最多であり、在宅での待機者が一定数存在する。(問2)

(2) 介護保険サービスについて

- 在宅待機者は、福祉用具・通所・訪問サービスの利用率が高い傾向である。また、約6割は利用できない、できなかったサービスはないと回答しているが、一部でショートステイ等の不足がみられる。(問2-1、問2-2)
- 入所意向は「在宅希望だがやむを得ず入所」が最多で、消極的な入所意向が中心である。なお、在宅待機者では在宅継続志向も一定程度みられる。(問3)
- 施設整備に関する考え方は、「必要最小限の増設」が最多で、保険料とのバランス重視の意識が強い。(問4)
- 今後のサービス利用意向について、半数が特別養護老人ホーム以外の利用意向がなく、特別養護老人ホームの利用意向の強さが顕著である。(問5)
- 特別養護老人ホーム志向の理由は、費用の安さとサービスの質への期待が中心である。なお、他のサービスを知らないといった回答も3割以上となっている。(問5-1)
- 入所時期は「今すぐ」および「必要時」が多く、緊急性と潜在需要が併存している。(問6)
- 居室の希望については、個室志向が高く、特にユニット型個室のニーズが高い。なお、多床室の希望は減少傾向である。(問7)

(3) 考察

①調査対象者の属性について

- 入所希望の変動がみられ、待機者の状況把握と適切な管理が重要である。
- 在宅で待機する人が一定数存在し、在宅生活を支える支援の充実が重要である。

②介護保険サービスについて

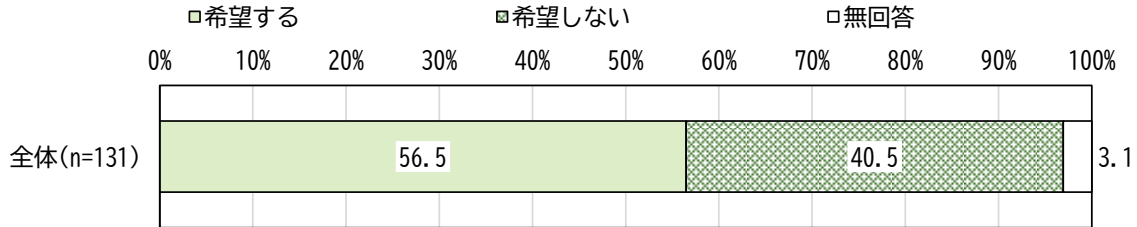
- 在宅サービスは一定利用されているが不足もみられ、サービス供給体制の整備が課題である。
- 消極的な入所意向が多く、在宅継続支援の充実が求められている。
- 施設整備は抑制的意向が強く、需要と負担のバランスを踏まえた整備が重要である。
- 特別養護老人ホームへの希望が強く、多様なサービスの周知と利用促進が課題である。
- サービス情報の不足がみられ、選択肢に関する情報提供の強化が求められている。
- 入所時期に緊急性と潜在需要が併存しており、柔軟な受入体制の構築が重要である。
- 個室志向が高まっており、ニーズに応じた居室環境の整備が求められている。

3 各設問の結果

(1) 調査対象者の属性

問1 あなたは特別養護老人ホームへの入居を引き続き希望しますか。(ひとつだけ☑)

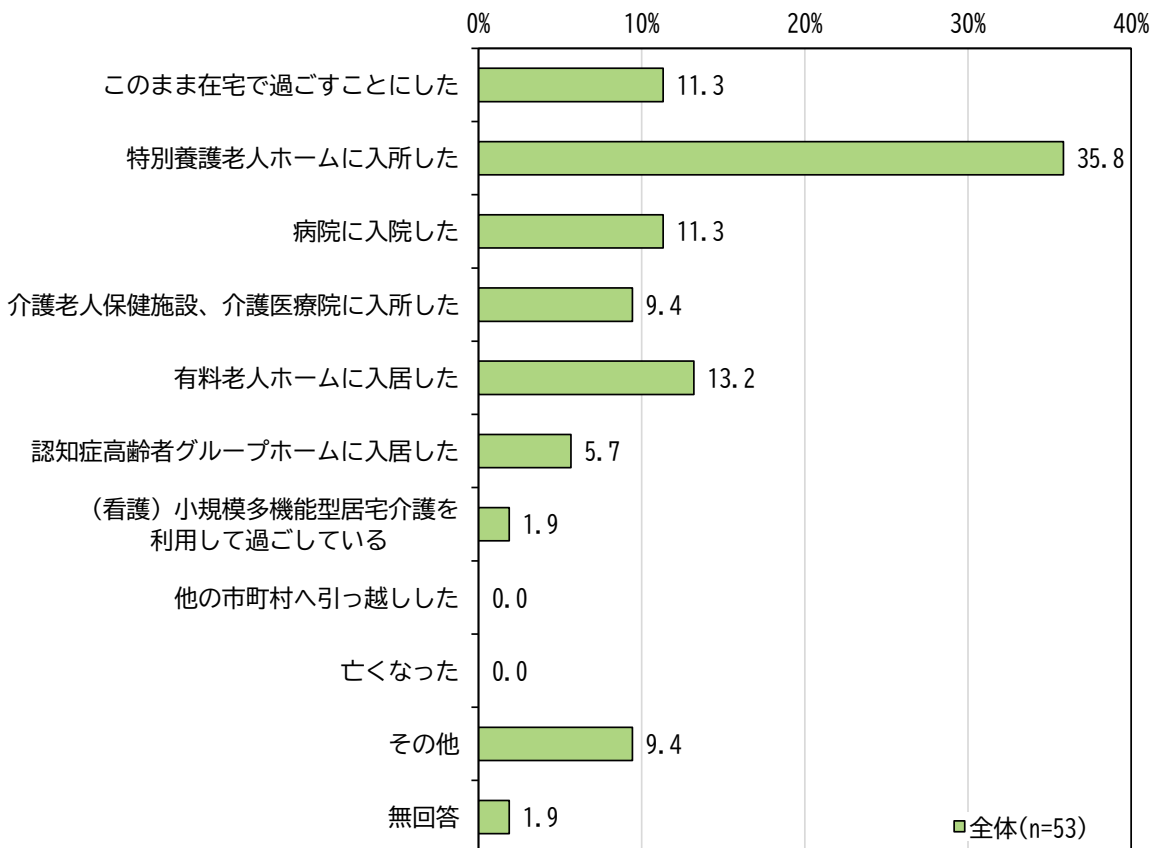
全体では、「希望する」が56.5%、「希望しない」が40.5%となっている。



問1で「希望しない」に☑をつけた方にうかがいます。

問1-1 その理由についてお答えください。(ひとつだけ☑)

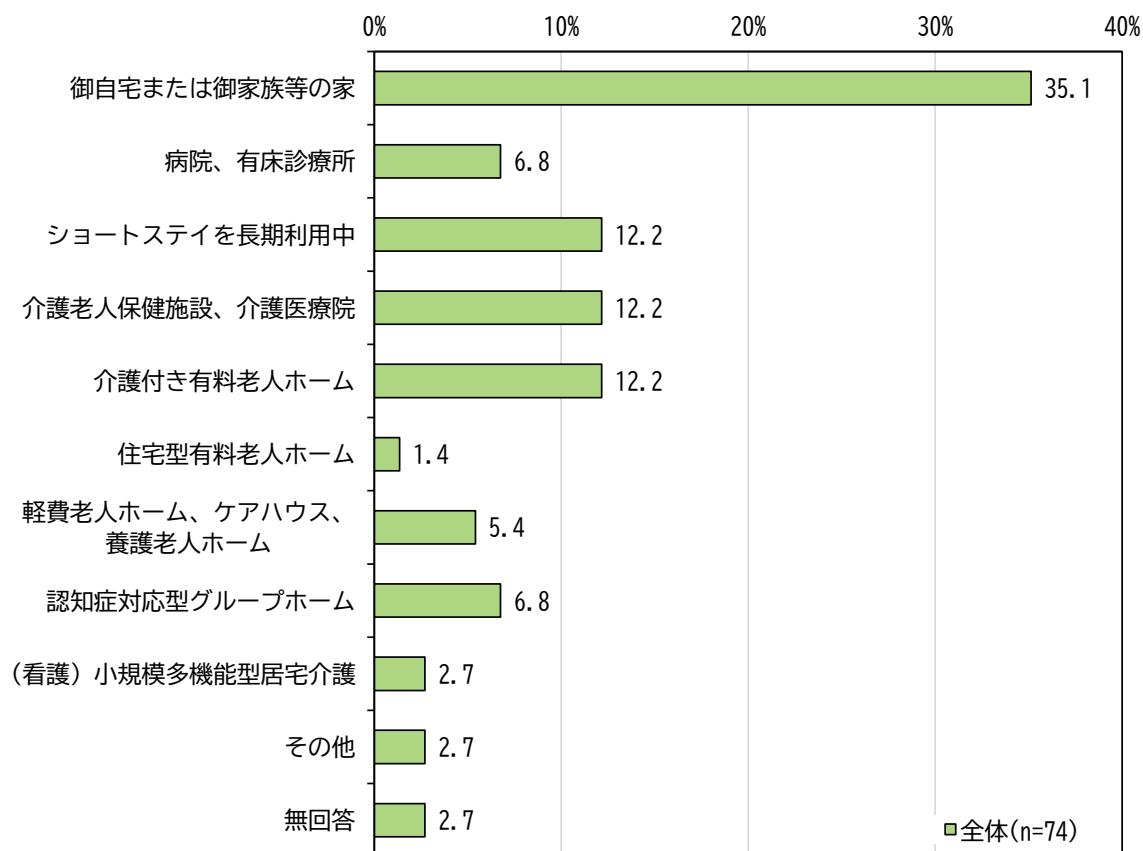
全体では、「特別養護老人ホームに入所した」が35.8%と最も高く、「有料老人ホームに入居した」が13.2%、「このまま在宅で過ごすことにした」、「病院に入院した」が11.3%と続いている。



問2以降は、問1で「希望する」に☑をつけた方にかがいます。

問2 特別養護老人ホーム申込者は、現在どちらにいらっしゃいますか。(ひとつだけ☑)

全体では、「御自宅または御家族等の家」が35.1%と最も高く、「ショートステイを長期利用中」、「介護老人保健施設、介護医療院」、「介護付き有料老人ホーム」が12.2%と続いている。

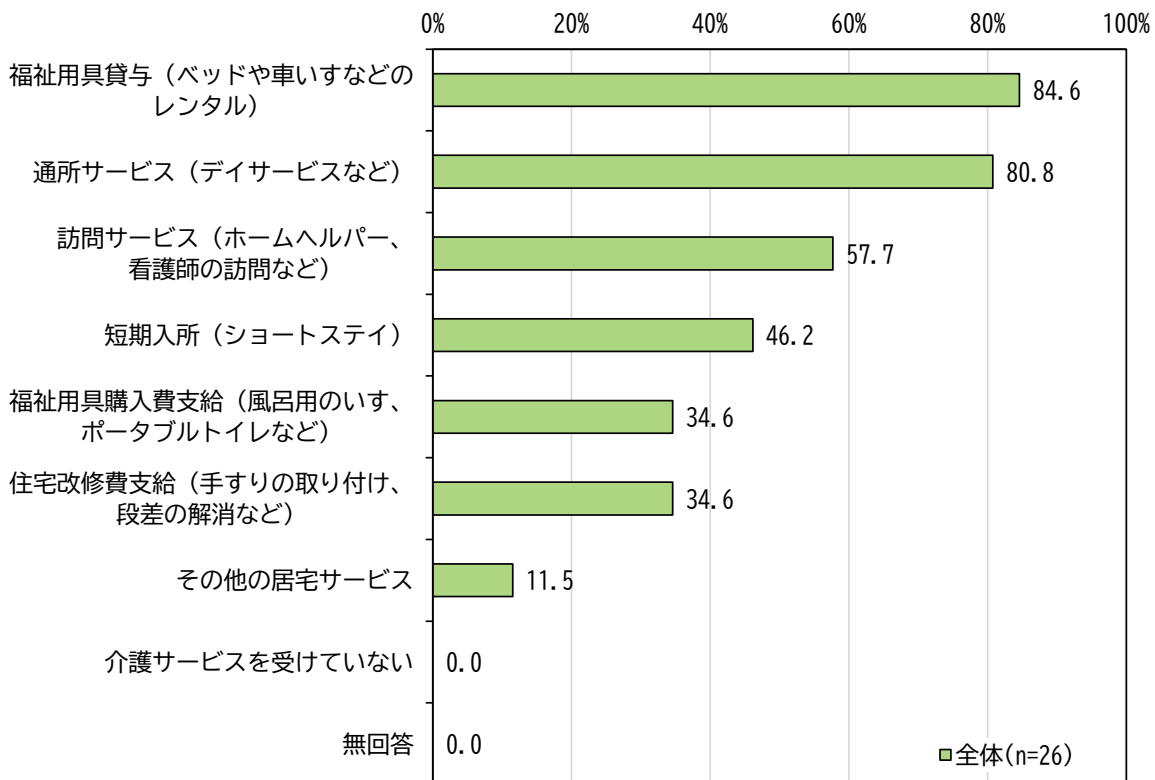


(2) 介護保険サービスについて

問2で「御自宅または御家族等の家」に☑をつけた方にうかがいます。

問2-1 現在、在宅の介護保険サービスは、どのようなものを利用していますか。
(あてはまるものすべてに☑)

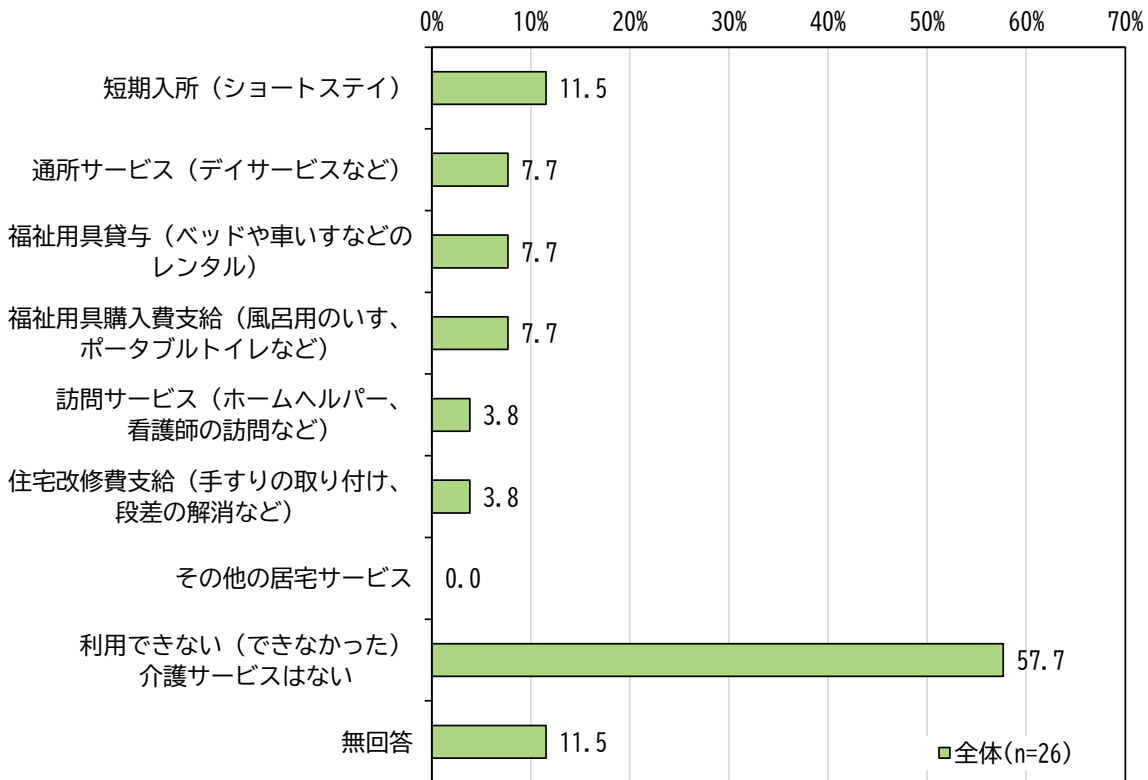
全体では、「福祉用具貸与（ベッドや車いすなどのレンタル）」が84.6%と最も高く、「通所サービス（デイサービスなど）」が80.8%、「訪問サービス（ホームヘルパー、看護師の訪問など）」が57.7%と続いている。



問2で「御自宅または御家族等の家」に☑をつけた方にかがいます。

問2-2 在宅の介護保険サービスのうち、事業所が近くにない、利用したいが予約がいっぱいで利用できないなど、事業者側の都合で、利用したいのに利用できない（できなかった）サービスはありますか。（あてはまるものすべてに☑）

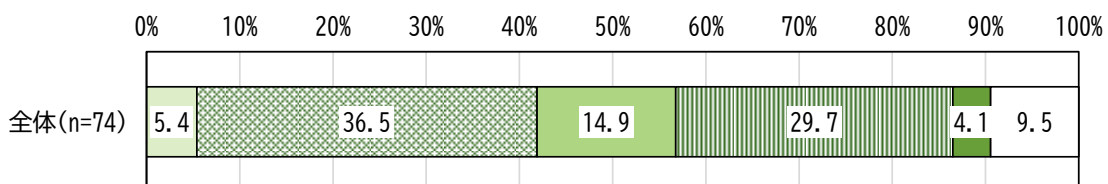
全体では、「利用できない（できなかった）介護サービスはない」が57.7%と最も高く、「短期入所（ショートステイ）」が11.5%、「通所サービス（デイサービスなど）」、「福祉用具貸与（ベッドや車いすなどのレンタル）」、「福祉用具購入費支給（風呂用のいす、ポータブルトイレなど）」が7.7%と続いている。



問3 あなたは、入所についてどのように考えていますか。（ひとつだけ☑）

全体では、「在宅での暮らしが望ましいが、やむを得ず入所するしかない」が36.5%と最も高く、「在宅でなく、施設への入所を希望する」が29.7%、「将来心配なので、重度化する前から施設に入所したい」が14.9%と続いている。

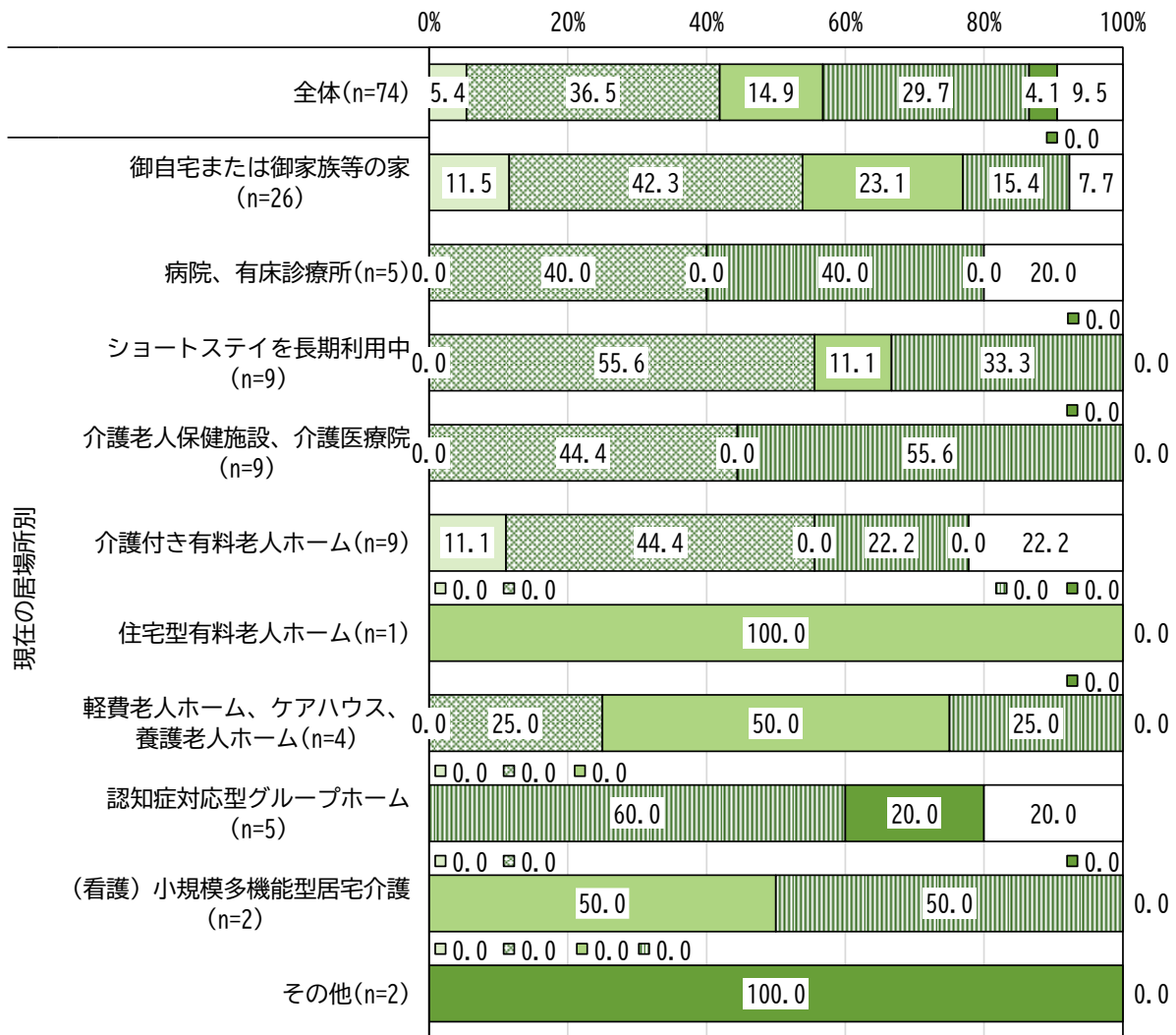
- できれば在宅で介護を受けながら暮らしたい
- ▣在宅での暮らしが望ましいが、やむを得ず入所するしかない
- 将来心配なので、重度化する前から施設に入所したい
- ▨在宅でなく、施設への入所を希望する
- その他
- 無回答



■現在の居場所別

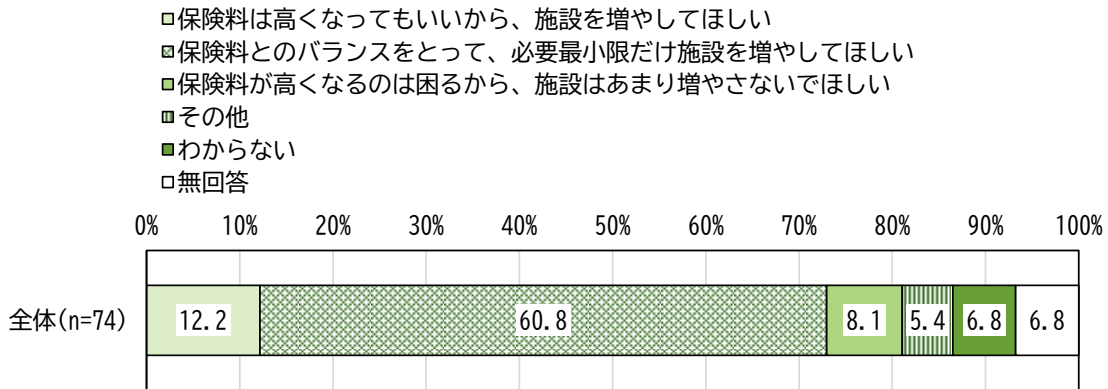
現在の居場所別でみると、「できれば在宅で介護を受けながら暮らしたい」の割合は、御自宅または御家族等の家、介護付き有料老人ホームで高い傾向がみられる。

- できれば在宅で介護を受けながら暮らしたい
- ▨ 在宅での暮らしが望ましいが、やむを得ず入所するしかない
- 将来心配なので、重度化する前から施設に入所したい
- ▩ 在宅でなく、施設への入所を希望する
- その他
- 無回答



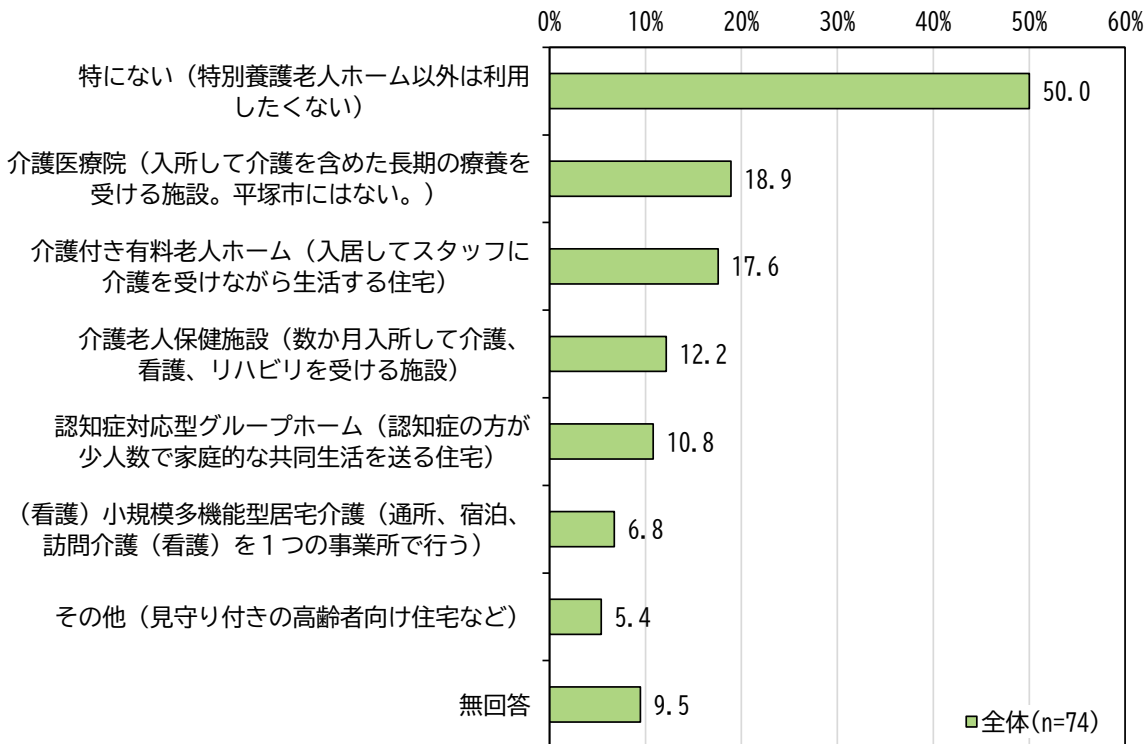
問4 特別養護老人ホームの整備に関するお考えに最も近いものをお答えください。(ひとつだけ)

全体では、「保険料とのバランスをとって、必要最小限だけ施設を増やしてほしい」が60.8%と最も高く、「保険料は高くなっていいから、施設を増やしてほしい」が12.2%、「保険料が高くなるのは困るから、施設はあまり増やさないでほしい」が8.1%と続いている。



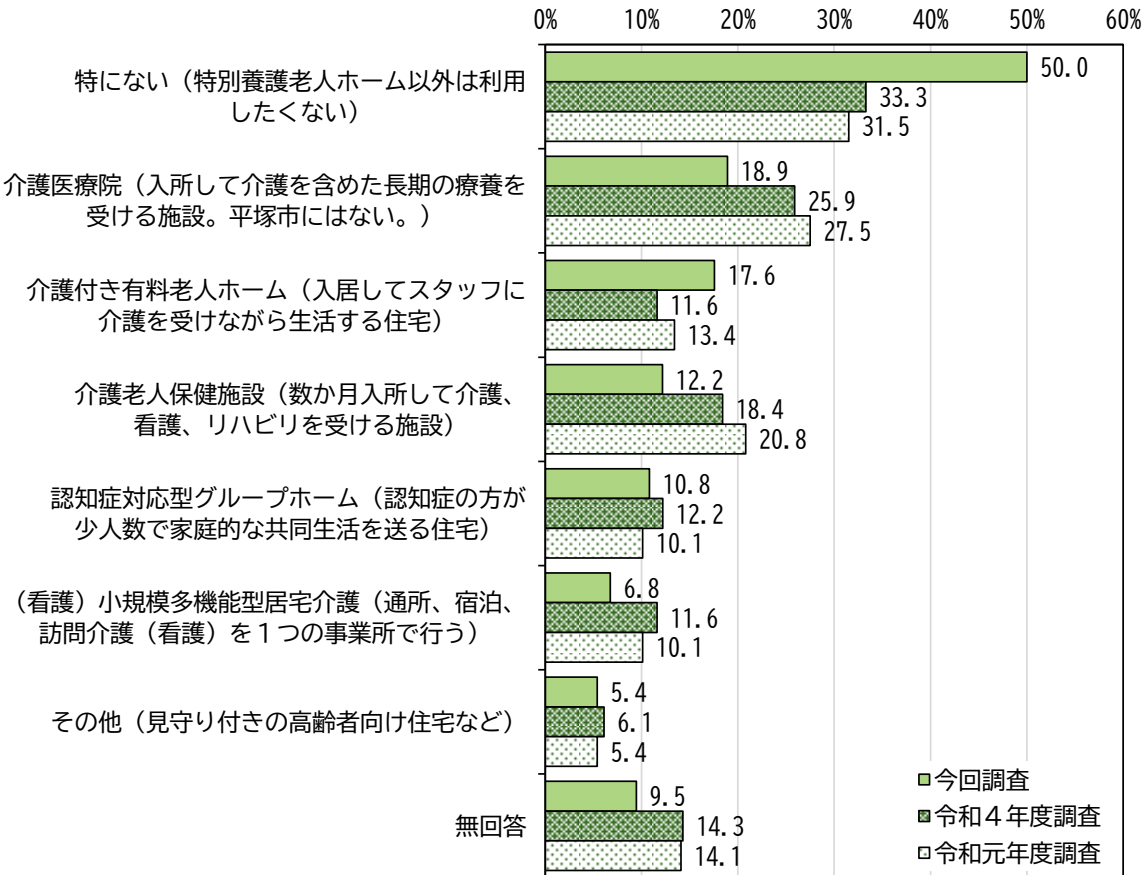
問5 特別養護老人ホーム以外に、今後利用してもよいというサービスはありますか。(あてはまるものすべてに☑)

全体では、「特にない(特別養護老人ホーム以外は利用したくない)」が50.0%と最も高く、「介護医療院(入所して介護を含めた長期の療養を受ける施設。平塚市にはない。)」が18.9%、「介護付き有料老人ホーム(入居してスタッフに介護を受けながら生活する住宅)」が17.6%と続いている。



■経年比較

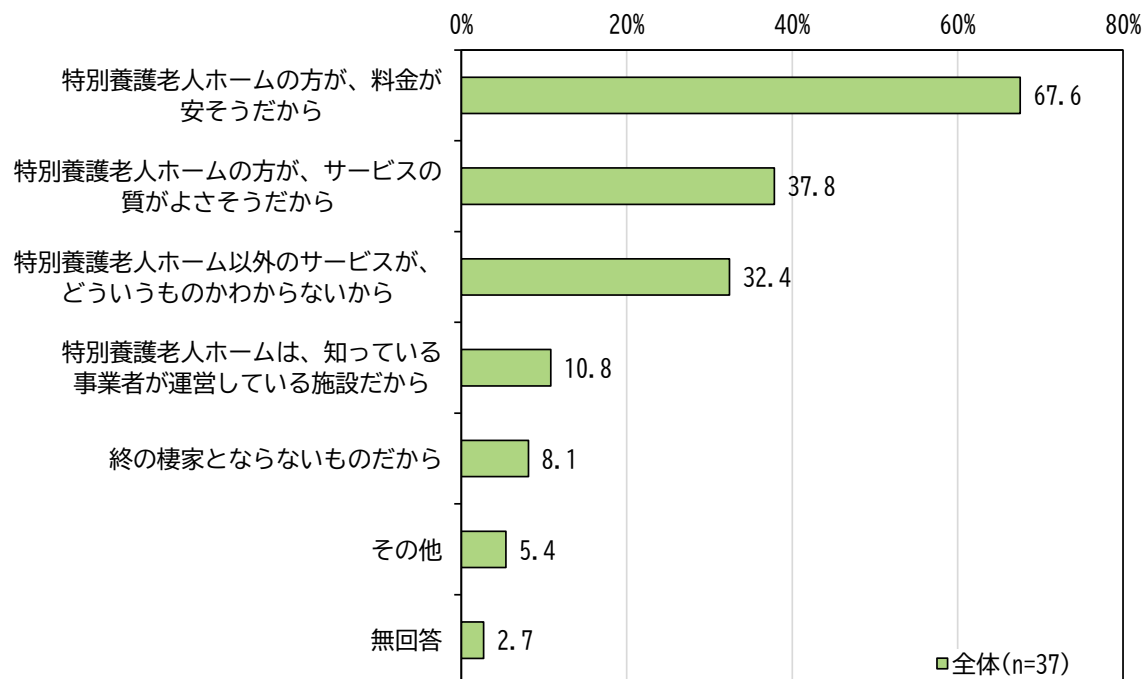
経年比較では、「特にない（特別養護老人ホーム以外は利用したくない）」、「介護付き有料老人ホーム（入居してスタッフに介護を受けながら生活する住宅）」の割合は上昇傾向、「介護医療院（入所して介護を含めた長期の療養を受ける施設。平塚市にはない。）」、「介護老人保健施設（数か月入所して介護、看護、リハビリを受ける施設）」の割合は下降傾向である。



問5で「特にない（特別養護老人ホーム以外は利用したくない）」に☑をつけた方にうかがいます。

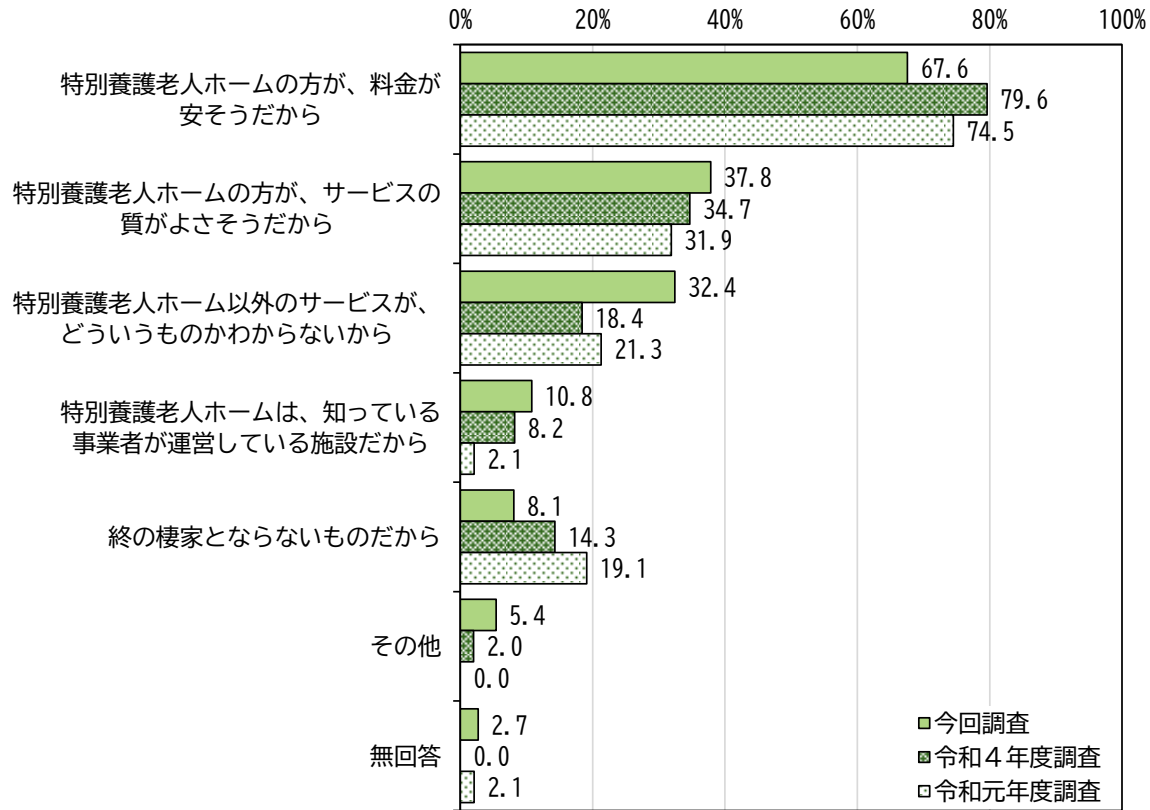
問5-1 特別養護老人ホーム以外は利用したくない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに☑）

全体では、「特別養護老人ホームの方が、料金が安そうだから」が67.6%と最も高く、「特別養護老人ホームの方が、サービスの質がよさそうだから」が37.8%、「特別養護老人ホーム以外のサービスが、どういうものかわからないから」が32.4%と続いている。



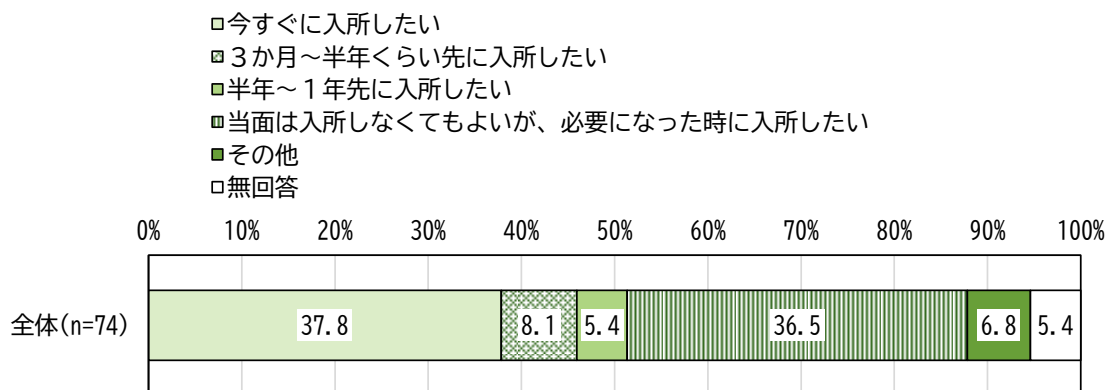
■経年比較

経年比較では、「特別養護老人ホームの方が、サービスの質がよさそうだから」、「特別養護老人ホーム以外のサービスが、どういうものかわからないから」、「特別養護老人ホームは、知っている事業者が運営している施設だから」の割合は上昇傾向、「終の棲家とならないものだから」の割合は下降傾向である。



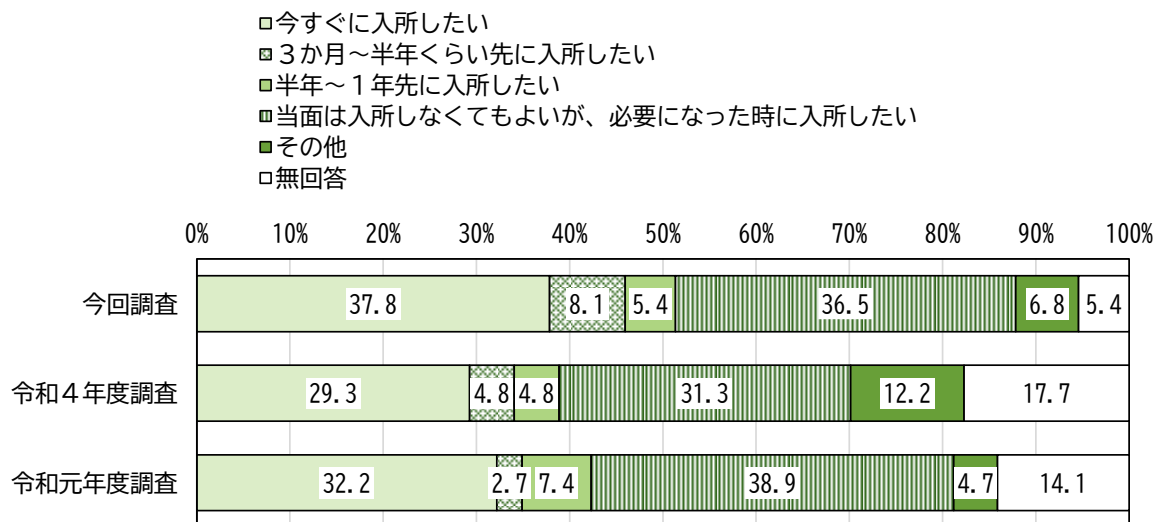
問6 特別養護老人ホームに入所したい時期はいつですか。(ひとつだけ)

全体では、「今すぐに入所したい」が37.8%と最も高く、「当面は入所しなくてもよいが、必要になった時に入所したい」が36.5%、「3か月～半年くらい先に入所したい」が8.1%と続いている。



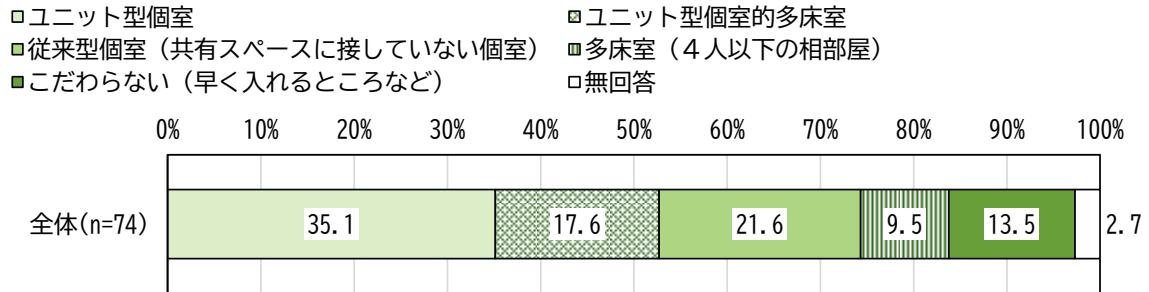
■経年比較

経年比較では、「今すぐに入所したい」、「3か月～半年くらい先に入所したい」の割合は上昇傾向である。



問7 特別養護老人ホーム利用時において、居室を選択できるとしたら、どのような居室を希望しますか。(ひとつだけ☑)

全体では、「ユニット型個室」が35.1%と最も高く、「従来型個室（共有スペースに接していない個室）」が21.6%、「ユニット型個室的多床室」が17.6%と続いている。



■経年比較

経年比較では、「ユニット型個室」、「ユニット型個室的多床室」、「従来型個室（共有スペースに接していない個室）」の割合は上昇傾向、「多床室（4人以下の相部屋）」の割合は下降傾向である。

